

タイトル	命の大切さ、尊さを知るために～わたしがうまれたとき～	
対象	子ども・保護者・職員	写真絵本

<作成の意図>

コロナ禍の中、家庭で親子が一緒に過ごす時間が増え、子どもとの関わりの中で何気ない日々のありがたさや命の尊さを改めて感じています。今まで当たり前にごろしていた日常生活が変わり、戸惑いや不安を感じることも多くなりました。

子どもたちが『愛されている・愛すべきかけがのない存在』であることを感じ、安心して、健やかに成長してほしいと願って、この写真絵本を作成しました。

<内容・使い方>

「わたしがうまれたとき、どんなきもちがした?」「だっこしたとき、どんなきもちがした?」、子どもの問いかけにやさしく応えてくれる絵本です。家庭や保育所でお子さんと一緒に楽しんでください。「わたし」のところをお子さんの名前に置き換えて読んであげると、一層身近に感じるができるでしょう。お子さんの写真や名前を入れて、世界に一つだけの絵本を作ることができます。



展示用メッセージ



子ども達が、愛されている・愛すべきかけがえのない存在だと感じ、健やかに育ちますように…